

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和6年第2回宮城県遠田警察署協議会
開 催 日 時	令 和 6 年 6 月 2 6 日 （ 水 ） 午 後 4 時 0 0 分 か ら 午 後 4 時 4 0 分 ま で
開 催 場 所	遠田警察署 大会議室
出 席 者 等	1 協議会委員～5名 ・ 出席委員～伊藤努会長、飯渕克美副会長、高橋清子委員、 藤村かおり委員 ・ 欠席委員～和賀稔委員 2 警察署～10名 署長、次長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課課長代理、警務係長
議 事 概 要	別紙のとおり
備 考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

別紙

議事概要	1 挨拶 協議会長及び署長から挨拶 2 自己紹介 協議会委員及び署出席者が自己紹介 3 協議事項【署長から管内の治安情勢（令和6年5月末現在）について報告】 (1) 刑法犯認知件数及び主要検挙事件 - ア 発生状況及び特徴 ・ 犯罪認知件数 79件（うち窃盗56件） （前年比＋38件（うち窃盗＋30件）） ・ 検挙件数 38件（うち窃盗22件） （前年比＋11件（うち窃盗＋8件）） ・ 検挙人員 28人（うち窃盗16人） （前年比＋4名（うち窃盗＋3名）） - イ 主要事件 ・ 遠田郡涌谷町内における窃盗（万引き）事件（4月） ・ 遠田郡美里町内における脅迫事件（5月） ・ 遠田郡内における窃盗事件（5月） ※ 刑法犯認知件数の増加要因となっていた窃盗事件について、被疑者を検挙し現在余罪について捜査中。 【質疑応答】 委 員：主要事件の中で「遠田郡内」と書いているが、その理由を教えてほしい。 署 長：涌谷町・美里町で発生しているためであり、当署管内に限らず、他の地域でも犯行に及んでいる可能性もある。 委 員：車のホイール付きタイヤの盗難被害の詳細を教えてください。 署 長：屋外に保管していた夏タイヤ又はスタッドレスタイヤを盗む手口であり、日中帯に数カ所回り目星を付け、夜間に犯行に及ぶものであった。 委 員：万引きの詳細を教えてください。 刑 事 課 長：スーパーに持参したエコバッグ等に衣料品や食料
-------------	---

議事概要

品を隠し入れたり、セルフレジを通さずに犯行に及ぶものが多い。

(2) 特殊詐欺の認知状況及び特徴

ア 認知状況

(ア) 管内

件 数：2件（前年比＋2件）

被害金額：約149万円（前年比＋約149万円）

(イ) 県内

件 数：146件（前年比＋14件）

被害金額：約4億6千万円（前年比＋約2億2千万円）

イ 管内の特徴

保険料の還付金名目2件

(3) 少年の非行・補導状況及び概要

ア 少年非行の状況

刑法犯少年：2名（前年比±0名）

触法少年：0名（前年比－4名）

不良行為少年：4名（前年比－20名）

イ 概要

刑法犯少年：傷害事件1名、器物損壊事件1名

不良行為少年：深夜はいかい1名、性的いたずら2名、粗暴行為1名

(4) 人身安全関連事案の状況

ア ストーカー・DV事案

(ア) ストーカー・DV事案の状況

ストーカー事案：6件（前年比＋3件）

D V 事 案：11件（前年比－7件）

(イ) ストーカー・DV事案の概要

いずれも警察の初期対応に応じており、検挙事案はなし。

イ 各種虐待事案

(ア) 各種虐待事案の状況

児童虐待：15件（前年比－5件）

高齢者虐待：4件（前年比－9件）

障害者虐待：0件（前年比－1件）

(イ) 各種虐待事案の概要

いずれも前年比でマイナスであるが、相当数発生している状況であり、児童相談所や町等とも連携して対応している。

【質疑応答】

委

員：特殊詐欺の認知件数2件の、電話で誘導されAT

議事概要

Mを操作したものについて教えてほしい。

署 長：電話でA T Mに誘導され、電話をしながらA T Mを操作したところ、逆に送金する被害に遭っている。

委 員：A T Mには振り込み限度額があるが、何回かに分けて振り込んでいるのか。

署 長：振り込みできる上限限度額まで2度に分けて送金させられており、相手を誤信して送金していた状況である。

委 員：特殊詐欺が発生した場合、防災無線が流れるが、家の中では聞こえない。配付される広報紙などで家族と共有しているが、実際に発生しているとは思わなかった。

署 長：特殊詐欺予兆電話があれば、防災無線での広報活動を行っているが、この他にも金融機関と情報共有し、パトロールカーでの広報や巡回などの防犯活動を実施し、被害防止に努めている。

(5) 交通事故の発生状況及び特徴

ア 発生状況

人身事故：17件（前年比＋1件）

物損事故：297件（前年比＋32件）

死亡事故：0件（前年比±0件）

イ 人身事故発生の特徴

(ア) 事故形態別は追突（7件）が最も多く、次に正面衝突（5件）が多い。

(イ) 国道での発生が8件で全体の5割近くを占める。

(ウ) 高齢運転者事故は3件（17.6％）で前年より大きく減少している。

【質疑応答】

委 員：国道での人身事故の発生が多い理由は何か。

交 通 課 長：国道は広く、走りやすいため、漫然運転になるのではないかと考えている。

委 員：先日、美里町のセブンイレブン小牛田バイパス店前の道路で交通事故があったと聞いた。交差道路に一時停止標識があるが、国道と交わる箇所であり、信号機設置の検討をお願いしたい。

署 長：信号機の設置については、現地の状況を確認し、必要性を検討する。

委 員：国道付近でイベントを行う場合は、警察へ連絡が

	必要か。
署	長：道路使用許可が必要になる場合があるため、駐在所や警察署交通課へ相談していただきたい。
委	員：死亡事故ゼロは良いこと。宮城県内でどこにもないような安全な町づくりをお願いしたい。
署	長：承知した。